



元気はつらつ賞



糸崎小ふれあいやっさ



ステージでマイクパフォーマンス



見たか聞いたか 三原の城は～

第8回糸崎コミセン祭り

【体験教室報告】気軽にオカリナを楽しむ会

開催日時：平成25年11月24日(日)
出演・出展・出店 募集中
祭 祭 祭 祭 祭
 糸崎コミセンへ問合せ下さい
電話 62-6799



◇体験教室開催のお知らせ◇ **コーヒー&お菓子教室**

レアチーズケーキ
 を作って
 美味しいコーヒー
 を淹れて
おしゃべりしましょう



日時：平成25年9月29日(日) 13時～15時30分
 定員：12名 受講料：600円
 講師：新谷 綾子さん
 申込み期間：9月2日(月)～27日(金)
 問合せ：糸崎コミセン 電話62-6799

道徳のコラム
恩を知り、感謝し、報いる

私たち日本人は、例えば自分の最近の様子を尋ねられたときなどに、「おかげさまで・・・」という言葉添えて返すことがあります。「おかげ」とは神仏の助け、加護、または人から受けた恩恵、力添えを表す言葉です。つまり、周囲の存在、またはすでに亡くなった人々や自然に対して、こうした言葉を使ってきたのです。

私たちは祖先や親、先輩や友人など、多くの人々の恩恵を受けて、今、ここにいます。そこには私たちが助け、支え、育てようとする温かな思いがあります。その恩を通して、自分が本当に大切にされていることを理解すると、私たちは生きていく力を得ることが出来ます。そして、さらにその恩に感謝し、これに報いようとする心から、私たちは他者への思いやりの心を育んでいくのです。

一人ひとりが周囲への感謝の心を忘れず、思いやりに満ちた豊かな社会を築いていきたいものです。

(ニューモラル五二七号より)